

第一種健康診断特例区域等の 検証に関する検討会（第4回）	資料4
令和3年7月2日	

原子爆弾投下時の気象状況等に関する 文献等調査について

令和3年7月
厚生労働省

原子爆弾投下時の気象状況等に関する文献等調査について

米国国立公文書館及びトルーマン大統領図書館の現状

1. 米国国立公文書館の現状について

- (1) 現時点で資料の利用・閲覧をはじめとする全てのサービスについて正式な施設の再開には至っていない
- (2) 米国国立公文書館に通う職員も約25%という状況
- (3) 正式な再開を検討するために、フェーズ1からフェーズ3まで段階的に施設の再開や限定的な資料の利用サービス実施
- (4) 段階的な施設の再開等については「NARA Phased Reopening Plan」として実施
(<https://www.archives.gov/files/news/images/nara-reopening-plan-v02022021.pdf>)
- (5) 各フェーズで条件を満たすと次のフェーズに移行していくことになり、6月21日にフェーズ2になったところ
- (6) この段階的な施設の再開等については、一般に向けたものではない
- (7) 新型コロナウイルスの感染状況によりこの段階的な施設の再開等が見直しになる場合がある
- (8) 現時点で本格的な施設の再開等について正式な時期等の発表はない（秋頃に再開見込み（現地調査員予想））
- (9) 施設が再開されたとしても新型コロナウイルス感染症対策の為、閉鎖前より資料請求や資料の提供に時間が大幅にかかる等、資料の調査・収集には時間がかかることが予想される

2. トルーマン大統領図書館の現状について

- (1) 現時点で資料の利用・閲覧をはじめとする全てのサービスについて正式な施設の再開には至っていない
- (2) 正式な施設の再開にあたり、館内での限定公開を行い再開に向けた検討を行うことになっている模様

令和3年度調査について

1. 目的

原子爆弾投下時の気象状況や放射性降下物の拡散状況に関するシミュレーション等を行うための基礎資料となる当時の気象状況等に関する文献やデータの収集を実施

2. 事業内容

(1) 事業詳細

上記目的に沿った文献、資料、写真、動画等の所在を調査し、リスト化を行うとともに2(2)の調査方法において、可能な限り当該資料を収集

(2) 調査方法

次に示す資料館のインターネット公開サイトを利用し、当該資料の調査、収集を実施

- ・米国地質学調査所図書館
- ・米国エネルギー省科学技術情報部
- ・米国空軍マックスウェル基地空軍歴史資料調査部
- ・米国国立衛生研究所国立医学図書館
- ・スミソニアン国立航空宇宙博物館資料館

※米国国立科学アカデミー資料室については、オンライン調査は不可